

野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（素案）に対する意見募集の結果について

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

1 政策等の題名

野田市鈴木貫太郎記念館再建基本計画（素案）

2 意見の募集期間

令和7年11月19日（水曜日）から令和7年12月18日（木曜日）まで

3 意見の募集結果

①提出者数・意見数		1人	9件
②提出方法	直接持参	0人	0件
	郵送	0人	0件
	F A X	1人	9件
	Eメール	0人	0件
	ちば電子申請サービス	0人	0件
③政策等に反映した意見			3件

4 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
第2章			
1	関宿地区の歴史を学ぶ、魅力を発信するために、野田市郷土博物館にある関宿地区の資料を記念館に移管して下さい。（9ページ）	野田市郷土博物館は、野田市全域の歴史資料を広く収蔵し、展示する施設になります。そのため、関宿地区の歴史資料については、今後も野田市郷土博物館において、収蔵、展示されるものです。 鈴木貫太郎記念館については、鈴木貫太郎に関する資料について収蔵、展示することから、野田市郷土博物館が収蔵する鈴木貫太郎に関する資料については、今後鈴木貫太郎記念館への移管を進めてまいります。なお、鈴木貫太郎記念館の企画展などでは、関宿の歴史を取り扱うことも検討しており、野田市郷土博物館と綿密な連携を図ることで、展示資料の貸借や調査研究の情報共有な	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
		<p>どを実施し、よりよい展示を目指していきます。太郎記念館の企画展などでは、関宿の歴史を取り扱うことも検討しており、野田市郷土博物館と綿密な連携を図ることで、展示資料の貸借や調査研究の情報共有などを実施し、よりよい展示を目指していきます。</p>	
第3章			
2	<p>資料の閲覧するために、所蔵目録を早く作成し、公開してください。(10ページ)</p>	<p>現在、資料目録を作成しており、博物館法第2条第1項に規定する登録博物館となるためには、整備が必要なものであることから、令和8年度中を目処にまとめてまいります。</p> <p>鈴木貫太郎記念館をより多くの方に知ってもらうためにも、公開の内容や方法などを検討し、再建する記念館の開館と併せて実施してまいります。</p>	修正無し
3	<p>デジタル化にあたっては、データをアップデートして、資料を公開してください。(11ページ)</p>	<p>鈴木貫太郎記念館をより多くの方に知ってもらうためにも、資料のデジタル上での公開は不可欠と考えております。</p> <p>公開の内容や方法などを検討し、再建する記念館の開館と併せて実施してまいります。</p>	修正無し
4	<p>展示ガイドを野田市郷土博物館のようにボランティアに行わせるのはいかがでしょうか。(14ページ)</p>	<p>お見込みのとおり、ここでの展示ガイドとは、ボランティアによる解説も想定しており、実施してまいります。</p>	修正無し
5	<p>野田市郷土資料館と載っていますが、野田市郷土博物館ではないでしょうか。確認してください。(17ページ)</p>	<p>ご意見のとおり、野田市郷土資料館という施設は存在しておらず、野田市郷土博物館の誤りです。</p> <p>「野田市郷土資料館」を「野田市郷土博物館」に修正いたします。</p>	修正有り

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
第6章			
6	<p>「川間駅からバス30分」とあります。バスは路線バスのことと考えます。川間駅から、鈴木貫太郎記念館近くのバス停に行く路線バスは、開館時間に行くバスは1日2本しかありません。何らかの対策が必要です。</p> <p>東武伊勢崎線の浅草―東武動物公園までは「東武スカイツリーライン」という愛称があります。表示していただきたい。</p> <p>もよりのバス停名を「鈴木貫太郎記念館前」に変更するようバス会社と交渉したらいかがか。(30ページ)</p>	<p>ご意見のとおり、ここでのバスとは、路線バスとなりますので、「バス」を「路線バス」に修正いたします。</p> <p>また、東武野田線については愛称を記載しておりますので、ご意見のとおり東武伊勢崎線につきましても、東武スカイツリーラインの愛称を併記して記載することといたします。</p> <p>路線バスの運行本数、バス停の名称については、来場者による利用の状況を踏まえながら、運行事業者へ要望を行うなど検討をしてみたいです。</p>	修正有り
7	<p>記念館長室が必要ではないでしょうか。重要な話をする時必要だと考えます。(35ページ)</p>	<p>ご意見のとおり、応接のための空間は必要と考えておりますので、管理運営の諸室に応接室等を加え、面積を追加します。</p>	修正有り
第7章			
8	<p>千葉県立関宿城博物館友の会のような組織を作ったらいかがでしょうか。前橋市や堺市、足利市の方々にも入会をすすめ、民間のネットワークをつくったらいかがでしょうか。(39ページ)</p>	<p>ご意見のとおり、鈴木貫太郎記念館を将来に渡って円滑に運営し、発展していくためには、多くの方々のご協力が必要であると認識しております。</p> <p>博物館の機能を十分に発揮できる取組の一つとして、設置を検討してみたいです。</p>	修正無し
9	<p>野田市郷土博物館が、管理運営方式になってから、数年で学芸員が退職しています。地域住民や調査研究、資料収集、展示のためには、学芸員は必要です。(40ページ)</p>	<p>管理運営方式については、事業計画等を具体的に進めていく中で、登録博物館としての機能を十分に発揮しつつ、にぎわいや交流の拠点として最も適した管理運営方式について検討してみたいです。</p>	修正無し